

令和7年度日本小児外科学会
第2回定例理事会議事録

日 時：令和7年7月8日（火）11：00～17：00

会 場：大阪大学東京オフィス＋WEB

出席者：家入里志（理事長）、菱木知郎（副理事長）、小野 滋（次期会長）、加治 建、
曹 英樹、田中秀明、平林 健、渡辺稔彦（以上理事）、田中奈々（庶務委員長）、
照井慶太（庶務副委員長）、山田洋平（財務会計委員長）、柴田晶子（事務局）

出席者（WEB）：

内田広夫、木下義晶、尾藤祐子（以上理事）、浮山越史、田尻達郎（以上監事）、
大植孝治（第41回秋季シンポジウム会長）、渕本康史（第42回秋季シンポジウム
会長）、松浦俊治（専門医認定委員会委員長）、文野誠久（施設認定委員会委員長）、
石丸哲也（専門制度庶務委員会委員長）、城田千代栄（会長付庶務委員）

欠 席：上原秀一郎（新財務会計副委員長）、

議事案件：

議 事：

1. 第2回定例理事会の議事録署名人は、平林健理事、菱木知郎副理事長とした。
2. 令和6年度第6回、令和7年度第1回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第62回学術集会について（浮山前会長）

浮山前会長より、開催への協力に対する謝辞が述べられた。収支報告については現在取り
まとめ中であることが報告された。

2) 第63回学術集会について（内田会長）

内田会長が所要により遅れての参加となるため、城田会長付庶務委員より、資料に基づき
進捗状況が報告された。

共通講習の申請を多めに行う予定であることが報告された。

小児救急医学会とのジョイントセッションを企画中であることが報告された。

会 期：2026年6月11日（木）～6月 13日（土）

会 場：名古屋コンベンションホール

主 題：Bright Future for Children

輝く未来へ 小児外科の技術を磨く

同時開催：・WOFAPS regional meeting

・MIS workshop (fee required) （会場：名古屋大学医学部附属病院）

2026年5月19日（火）

3) 第64回学術集会について（小野次期会長）

小野次期会長より、口頭で進捗状況が報告された。

2027 年 5 月 26 日（水）～29 日（土）に国立京都国際会館で開催予定であることが報告された。

運営事務局については選定中であることが報告された。

4) 第 41 回秋季シンポジウムについて（大植秋季シンポジウム会長）

大植秋季シンポジウム会長より口頭で進捗状況が報告され、承認された。

- ・オンデマンド配信予定であることが報告された。
- ・演題募集を開始したことが報告された。
- ・協賛金について報告された。
- ・共通講習を申込中であることが報告された。

日時：令和 7 年 11 月 1 日（土）

会場：千里ライフサイエンスセンター

テーマ：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点

5) 第 42 回秋季シンポジウムについて（渕本次期秋季シンポジウム会長）

渕本次期秋季シンポジウム会長より、資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

7 月 9 日に各会長とキックオフミーティングを開催する予定であることが報告された。

会場開催＋オンデマンド配信を予定していることが報告された。

ポスター案が提示され、検討中であることが報告された。

日時：令和 8 年 10 月 31 日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：小児外科領域における最新技術の応用

6) 第 43 回秋季シンポジウムについて（加治次々期秋季シンポジウム会長）

加治次々期秋季シンポジウム会長より、口頭で準備状況が報告された。

日時：令和 9 年 10 月 23 日（土）

会場：久留米シティプラザ

テーマ：食道閉鎖症 Update

7) 令和 7 年度総合調整委員会日程について（菱木副理事長）

菱木副理事長より総合調整委員会の開催日程について提案があり、以下の通りとなった。

第 1 回 2025 年 8 月 27 日（水）14:00-17:00

第 2 回 2025 年 9 月 16 日（火）14:00-17:00

第 3 回 2026 年 1 月 5 日（月）14:00-17:00

第 4 回 2026 年 2 月 19 日（木）14:00-17:00

8) 各種委員会の担当理事及び委員長について（家入理事長）

家入理事長より各種委員会担当理事および委員長について提案があり、以下の通り承認された。特別委員会である PSI Pub Committee については Puri 先生に確認の上、大植孝

治委員長に継続していただく予定であることが報告された。委員のノミネートについては8月1日までに小野理事長と事務局宛に連絡することとした。

庶務委員会：担当理事 菱木副理事長、田中奈々委員長

財務会計委員会：担当理事 菱木副理事長、山田洋平委員長

機関紙委員会：担当理事 田中秀明理事、佐々木英之委員長

国際・広報委員会：担当理事 家入理事長、永田公二委員長

保険診療委員会：担当理事 木下理事、下島直樹委員長

教育委員会：担当理事 渡辺理事、渡邊美穂委員長

悪性腫瘍委員会：担当理事 平林理事、山本裕輝委員長

学術・先進医療検討委員会：担当理事 木下理事、石丸哲也委員長

倫理・医療安全管理委員会：担当理事 曹理事、伊崎智子委員長

データベース委員会：担当理事 田中秀明理事、井上成一朗委員長

小児救急検討委員会：担当理事 平林理事、富山英紀委員長

トランジション検討委員会：担当理事 加治理事、中目和彦委員長

ワーク・ライフ・バランス検討委員会：担当理事 尾藤理事、井上幹大委員長

規約委員会：担当理事 曹理事、加藤充純委員長

研究倫理委員会：担当理事 曹理事、宮城久之委員長

利益相反委員会：担当理事 尾藤理事、奈良啓悟委員長

NCD 連絡委員会：担当理事 渡辺理事、工藤博典委員長

ガイドライン委員会：担当理事 加治理事、住田 互委員長

医薬品医療機器検討委員会：担当理事 渡辺理事、佐藤英章委員長

ロボット支援手術検討委員会：担当理事 家入理事長、安井良僚委員長

PSI Pub Committee：担当理事 田中秀明理事、大植孝治委員長

NCD Audit Ad-hoc 委員会：担当理事 菱木副理事長、藤野明浩委員長

9) 新庶務委員（会長付）について（家入理事長）

城田千代栄評議員が会長付庶務委員に就任することが報告され、承認された。

10) 対外委員のメンバーについて（家入理事長）

家入理事長より、対外委員メンバーの提案がなされ、承認された。事務局から各組織に新委員を報告することとなった。

11) 各種委員会報告および審議事項

（1）庶務委員会（田中委員長）

田中委員長より、資料に基づき報告された。

2025 年 6 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,593 名（うち海外 3 名）、評議員 271 名、準会員 20 名、名誉会員 61 名（うち海外 8 名）、特別会員 65 名（うち海外 1 名）、賛助会員 1 団体の合計 2,010 名+1 団体である。

委員の選任に関する定款施行細則 第 5 章 常設委員会ならびに特設委員会 第 26 条 2 を

2（委員長及び委員）委員会の委員長及び、外部委員を除く委員は、原則、評議員の中からその意思を尊重して、理事会の承認得て、理事長が委嘱する。委員長は当該委員会の委員候補者を推薦することができる。

と改訂することが承認された。

（2）財務会計委員会（山田委員長）

山田委員長より、今回特に審議事項がない旨が述べられた。

（3）専門医制度委員会（専門医制度各委員長）

文野施設認定委員会委員長より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・2025 年度委員会活動について報告された。
- ・施設認定について、コロナ対応として直近 4 年間の手術数を 3 で除した値で審査を行っているが、2023 年 5 月に 5 類感染症となったことを考慮し、2027 年からは直近 3 年間の手術数の基に戻すことが報告された。
- ・新専門医制度関連について、2025 年 4 月 22 日の日本外科学会サブスペ領域連絡協議会以降の動きはないことが報告された。
- ・年次報告からの手術数推移について報告された。
- ・令和 7 年 6 月 4 日に開催された 日本小児外科学会専門医制度合同委員会について報告された。

（4）機関誌委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、資料に基づき PSI (JSPS Issue) Publication Committee について報告された。

- ・PSI(JSPS Issue)(第 62 回学術集会)に投稿された 28 論文のうち、16 論文の査読が進行中であり、7 月 31 日に Editor-in Chief Prof.Tomas Wester に送り、最終的な決定がなされる予定であることが報告された。
- ・査読中の論文 No:J3

タイトル「Thoracoscopic Intercostal Nerve Thermal Radiofrequency Ablation for Postoperative Pain Relief Following the Nuss Procedure」（筆頭著者：Sadashige Uemura、施設：Division of Chest Wall Surgery, Nishinomiya Watanabe Cardiovascular Center）について、研究倫理委員会に審査を依頼することが承認された。

（5）国際・広報委員会（家入担当理事）

家入担当理事より、口頭で 45 歳以下の若手を対象とした、地域別に支給するトラベルグラントの創設を検討していることが報告された。

（6）保険診療委員会（木下担当理事）

木下担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・令和 8 年度用診療報酬改定について提出済の要望が報告された。
- ・診療報酬の改定に向けての要望として提出された「NUSS 法における肋間神経の高周波熱凝固療法について」を、次回の外保連麻酔委員会の議題として提示予定であることが報告された。
- ・医療技術評価報告書「連続携帯式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術（腹腔鏡下）」のガイドラインの記載状況報告について、田井中前委員長が調査し提出したことが報告された。
- ・医療技術評価報告書「腹腔鏡下総胆管拡張症手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）」のガイドラインの記載状況報告について、ロボット支援手術検討委員会が調査し提出したことが報告された。

（7）教育委員会（渡辺担当理事）

渡辺担当理事より資料に基づき報告された。

- ・PSJM2025 で開催する第 19 回小児内視鏡外科手術セミナーについて報告された。
- ・2026 年 2 月 1 日（日）に WEB 開催する第 41 回卒後教育セミナー・第 20 回小児内視鏡外科手術セミナーのプログラムについて報告された。
- ・2025 年 8 月 30 日（土）に名古屋大学で開催する第 3 回サマースクールに初期研修医 13 名、学生 18 名から応募があり、31 名全員参加とすることが報告された。また、参加者により近い存在の講師ということで委員の所属施設より若手医師 5 名が講師として参加することが報告された。
- ・教育委員会から提案された施設リスト・キャリアパスに関するホームページ改訂進捗状況について報告された。
- ・日本外科学会プラットフォームを利用した e ラーニングシステム参加について、2025 年 6 月 26 日、日本外科学会から e ラーニングサイトの新しい仕様に関して連絡があり、e ラーニングの実装が現実的になってきたことが報告された。

（8）悪性腫瘍委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・データ回収事業はすでに完了していることが報告された。
- ・今期をもって解散予定であることが報告された。
- ・今後の活動について、残務処理が主体となることが報告された。
 - 現在まで回収したデータを、学会に移管。
 - 問い合わせなどの対応関係の事務の引継ぎ先を明確にする。
 - 悪性腫瘍登録事業地区センター幹事の業務は終了として、資料などが残っていれば、担当理事に着払いで送ってもらう。

（9）学術・先進医療検討委員会（木下担当理事）

木下担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・名古屋大学 小児外科 城田 千代栄先生より多施設共同前向き観察研究「胆道閉鎖症除外

診断のための ICG 蛍光術中胆道造影に関する多施設共同前向き観察研究」の審議依頼があり、前委員会メンバーで審議した結果、委員会として承認されたことが報告され、理事会での審議が求められた。理事会で審議した結果、文言を再確認の上、基本的に承認することとなった。

(10) 倫理・医療安全管理委員会（曹担当理事）

曹担当理事より、口頭で申し送り事項が確認された。

- ・事故調査への協力について、評議員改選のタイミングでアンケートを行うこととなった。

(11) データベース委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・2025 年 6 月 4 日の理事会で再修正申請が条件付き承認された「先天性胆道拡張症におけるロボット支援手術の有用性及び安全性評価」について、修正案への対応がなされたため、進めていただくことになったことが報告された。
- ・2025 年度 NCD データ（小児外科領域）利用後ろ向き研究の公募に 4 件の応募があったものとして審査を進め、委員会では 4 件全て承認としていた。が、6 月 23 日にもう 1 件応募が届いていたことが判明し、急遽審査を進めた結果、DB 委員会では 5 件全て承認することになり、COI 委員会および利益相反委員会で審議中であることが報告された。応募件数について、事務局でも確認し、チェック体制を強化していくことになった。
- ・2025 年度 NCD データ（小児外科領域）利用後ろ向き研究の採用数について、委員会枠相当と考えられる 1 件と一般枠 4 件のうち 3 件を採択可能であることが報告され、DB 委員会、COI 委員会および利益相反委員会の各応募課題に対する審議結果を踏まえて、採否を決議することが求められ、承認された。
- ・2024 年度 NCD データ（小児外科領域）利用後ろ向き研究の採用課題「小児肝切除の周術期成績の検討と合併症発生のリスク因子の同定」の修正申請について、軽微な変更であったため委員会内で協議して問題ないことを確認し、審議した結果、特に問題がなかったことが報告された。理事会後、申請者に承認の旨を回答することが報告された。
- ・2020 年度複数領域研究募集にて採用された課題「20-11：日本小児外科学会認定施設および非認定施設における小児急性虫垂炎手術の術中合併症と予後」について、authorship の修正申請、および論文発表の申請があったことが報告された。委員会として審議した結果、authorship の修正申請は特に問題が無いと判断されたが、論文については問題が多く含まれているので、このままで投稿すべきではないと判断されたことが報告された。理事会での決議が求められ、問題点の修正を求めることが承認された。
- ・2024 年度複数領域研究に小児外科学会より応募して採用された「先天性胆道拡張症における成人および小児症例の胆道再建法の検討」について、日本外科学会から日本消化器外科学会にデータ利用の許可を申請したところ、日本肝胆膵外科学会の許可を要するので本学会からそちらへ利用許可申請をするよう指示があったので申請者に連絡したことが報告された。

(12) 小児救急検討委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・2025 年第 62 回日本小児外科学会学術集会で開催された日本小児救急医学会とのジョイントセッションについて報告された。
- ・2025 年 7 月 20 日・21 日に PALS 講習会を開催する予定であることが報告された。
- ・2025 年 7 月 19 日に BLS を実施する予定であることが報告された。
- ・2025 年 7 月 5 日トカラ列島以外では 震度 5 強を超える地震は発生しなかったことが報告された。対策本部をたちあげるのは震度 6 強からのため、今回は対策本部をたちあげなかったことが報告された。浮山監事より、小児救急医学会では米倉先生の判断で立ち上げなかったことが報告され、米倉先生に確認してはどうかとの提案がなされた。

(13) トランジション検討委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・「トランジション実態に関するアンケート調査」について、小児外科疾患を限定してアンケート調査を行う予定であり、久留米大学倫理委員会での審議の準備を進めていることが報告された。患者個人の情報は含まず、解析結果は学会誌や総会で発表する予定であることが報告された。

(14) ワーク・ライフ・バランス検討委員会（尾藤担当理事）

尾藤担当理事より資料に基づき報告され、承認された。

- ・2025 年 10 月の PSJM での「講演会の企画」について報告された。
- ・働き方改革施行後の実態調査のアンケートの実施状況について報告された。

(15) 規約委員会（曹担当理事）

曹担当理事より、引継ぎ内容についての確認があり、越永先生に顧問（外部）の先生に継続をお願いするので連絡の取り方をうかがうこと、また、1 年更新か 2 年更新か確認することとなった。

(16) 研究倫理委員会（曹担当理事）

曹担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・データベース委員会から依頼された、NCD 利用研究(小児外科領域)を利用した後ろ向き研究の倫理的妥当性に関する審議結果が提示され、応募された研究課題は全て研究倫理に関する問題はないという結果になったことが報告された。

(17) NCD 連絡委員会（渡辺担当理事）

渡辺担当理事より、今回特に審議事項がない旨が述べられた。

(18) ガイドライン委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・新規報告事項は特になかったことが報告された。
- ・小児胃軸捻転症診療ガイドラインについて、Minds 公開前評価申請中であり、その後、

Minds 公開後評価および Minds ライブラリへの公開申請予定であることが報告された。

- ・腸回転異常症診療ガイドラインについて、ダイジェスト版英文化を伊勢一哉先生が作成中であることが報告された。また、公開後のアンケート結果について和文論文作成中であり、本学会誌に投稿予定であることが報告された。
- ・先天性食道閉鎖症診療ガイドラインについて、SCOPE および CQ（仮）作成し、現在、統括委員会・作成グループで回覧中であることが報告された。Web 会議で SCOPE をブラッシュアップしていく予定であることが報告された。第 61 回日本周産期・新生児医学会学術集会でガイドラインに関するシンポジウムの指定演者として委員長が途中経過を発表予定であることが報告された。
- ・先天性高インスリン血症診療ガイドライン改訂の作成グループに理事・委員長・副委員長が参加することが報告された。
- ・学会 HP 掲載診療ガイドラインの更新について報告された。

(19) 利益相反委員会（尾藤担当理事）

尾藤担当理事より資料に基づき報告され、承認された。

- ・2024 年度第 8 回、第 9 回利益相反委員会にて NCD 小児外科領域のデータを利用した後ろ向き研究申請に関する COI 審査を行ない、問題ないことが認められたことが報告された。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（渡辺担当理事）

渡辺担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・安定確保医薬品の見直しの係る候補成分の提案について報告された。2020 年 6 月に小児外科学会保険診療委員会で 10 成分を選出し厚労省に提出したが、治療ガイドラインの改訂などもあり 2025 年 1 月に再調査の依頼がありオンダンセトロンとセボフルレンを追加希望し、提出した。2025 年 6 月 3 日に見直し依頼が届き、オンダンセトロンは重篤性・代替薬の有無の観点で削除し、再提出したことが報告された。
- ・不採算品算定を希望する品目の提出について報告された。2017 年、2019 年に日本小児外科学会から、「ピシバニール」の供給継続の要望書を提出した。今回、あらためて中外製薬（株）より本剤の不採算及び製造設備の老朽化を理由に、今後の安定供給について当学会に打診があり、中外製薬（株）と要望書を作成中であることが報告された。厚労省へ要望書を提出することが承認された。

(21) ロボット支援手術検討委員会（家入理事長）

家入理事長より口頭で、大片祐一先生からプロクター申請があり、委員会で審議した結果承認されたことが報告された。

(22) 総合調整委員会（菱木委員長）

菱木委員長より、資料に基づき、総合調整委員会への諮問事項について報告された。

- ・新規諮問事項として下記の項目が報告された。

○理事の小児病院・こども病院枠の設置（女性理事枠と同じ扱い）

- 少子化における専門医・指導医取得への研修システム(令和のマッチング?)
- 女性小児外科医の活躍を支援する活動の導入(例:消化器外科女性医師の活躍を応援する会、WoEUPSA, etc)
- 国際・広報委員会の分割化による広報委員会の強化(SNSを含めた発信力)
- 今後の悪性腫瘍委員会および地区担当者の扱い
- 総合調整委員会の名称の変更(将来計画委員会?将来構想委員会?)
- ・継続諮問事項として下記の項目が報告された。
 - 1.専門医制度における卒後教育セミナーの必須化について
 - 2.学会による学術集会開催の資金集めについて
 - 3.働き方改革に対する学会の取り組み(会員向けアンケート実施中)
 - 4.新専門医制度への対応について
 - 5.U45WGの今後の活動方針について
 - 6.学術集会のあり方について 2029年から春季シンポジウムの導入の是非
 - 7.小児外科専門医の適正配置について(地域ブロック制についての検討)
 - 8.小児外科関連研究会の今後のあり方
 - 日本小児消化管機能研究会
 - 日本小児脾臓・門脈研究会
 - 日本胆道閉鎖症研究会
 - 日本小児外科 QOL 研究会
 - 日本小児ストーマ・排泄・創傷管理研究会
 - 2025年の学術総会で Kick off Meeting
 - 9.海外での研修システム、海外からの研修の受け入れについて
 - 10.JSPS Research Grant について
- ・シンポジウムを春季開催とした場合の総会開催について議論がなされた。
- ・リサーチグラントについては次回理事会で報告する予定であることが報告された。

(23) 日本外科学会理事会(田尻監事)

田尻監事より、口頭で7月末に会議があるので、次回理事会で報告すると述べられた。

(24) 四者協関連(家入理事長)

小野理事より、口頭で、四者協の任期について述べられた。

対外委員について確認がなされた。

(25) 委員会活動による研究の論文化の著者および費用の学会負担の在り方(家入理事長)

家入理事長より資料に基づき、委員会活動による研究の論文化の著者および費用の学会負担の在り方について報告され、基本方針が承認された。

- ・学術・先進医療検討委員会と研究倫理委員会で委員会を立ち上げ、フローチャートを作成することが承認された。
- ・平林 健理事を担当理事として、こども家庭庁のアドホック委員会をたちあげることが承認された。

1. 報告事項

1) 理事長報告（家入理事長）

- (1) 日本泌尿器学会からの通信文「理事長就任の挨拶」を受領した。
- (2) 日本輸血・細胞治療学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (3) 日本麻酔科学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (4) 日本呼吸器外科学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (5) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.419」を受領した。
- (6) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.420」を受領した。
- (7) 日本の医療の未来を考える会からの寄贈本「集中 7 月号」を受領した。

2) その他の報告

2) 次回定例理事会日程の確認（家入理事長）

次回定例理事会は令和 7 年 8 月 12 日(火) 11:00～16:00 大阪大学東京オフィスで開催する予定であることが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____